

平成27年度 定期作況報告

(10月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

I 気象概況

9月下旬:平均気温は平年より0.9℃高く、降水量は平年の208%、日照時間は平年の82%であり、多雨、寡照に経過した。

10月上旬:平均気温は平年より0.9℃低く、降水量は平年の72%、日照時間は平年の101%であり、少雨に経過した。

10月中旬:平均気温は平年より1.4℃低く、降水量は平年の187%、日照時間は平年の101%であり、低温、多雨に経過した。

以上、1ヶ月の平均では平均気温は平年より0.5℃低く、降水量は平年の149%、日照時間は平年の94%であり、多雨に経過した。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	20.7	20.2	0.5	16.8	18.1	△ 1.3	14.8	15.9	△ 1.1	17.4	18.1	△ 0.7
最低気温(℃)	12.0	9.9	2.1	7.9	8.5	△ 0.6	5.0	6.4	△ 1.4	8.3	8.3	0.0
平均気温(℃)	15.9	15.0	0.9	12.2	13.1	△ 0.9	9.7	11.1	△ 1.4	12.6	13.1	△ 0.5
降水量(mm)	70.0	33.6	36.4	31.0	43.0	△ 12.0	65.5	35.1	30.4	166.5	111.7	54.8
日照時間(hr)	47.3	57.6	△ 10.3	48.5	48.2	0.3	47.3	46.7	0.6	143.1	152.5	△ 9.4

注) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は平成16～25年の10ヶ年平均値。

表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

II 作況

5月20日 平年並

事由:播種は平年より2日早い4月16日に行った。播種直後の4月4半旬はやや低温に経過したため、出芽始までに日数を要し、播種後7日目に出芽揃となった。4月下旬から5月上旬にかけて高温、多照に経過したため、苗の生育は進み、遅れを取り戻した。移植は平年より2日早い5月19日に行った。

移植時における苗は、茎数は「きらら397」、「ななつぼし」ともに平年並であった。葉数は「きらら397」が2.9枚で平年より0.3枚少なく、「ななつぼし」が3.1枚で平年並であった。草丈はそれぞれ9.1cm、10.4cmで、平年比90%、100%と平年並から下回った。100本あたりの地上部乾物重はそれぞれ2.23g、2.55gで、平年比114%、123%であり、苗の充実度(地上部乾物重/草丈)はそれぞれ平年比126%、123%と平年を上回った。すなわち、苗は平年に比べ葉数は平年並からやや少なく、草丈は平年並からやや低く、乾物重および充実度は優った。

以上により、5月20日時点の作況は、平年並である。

6月20日 平年並

事由:5月下旬は高温、多照に経過したが、風の強い日が多かったため、移植から活着までの日数は平年並であった。6月上旬は低温、寡照に経過したものの、6月中旬は多照に経過したため、初期分けつの発生は平年並であった。

6月20日において、草丈は平年対比で「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ107%、104%と平年並で、茎数はそれぞれ101%、112%と平年並からやや上回った。主稈葉数はそれぞれ平年より0.4枚ずつ少なかった。

以上により、6月20日時点の作況は、平年並である。

7月20日 平年並

事由:6月下旬から7月上旬にかけて低温に推移したため、幼穂形成期は「きらら397」、「ななつぼし」ともに平年並であったが、止葉始は「きらら397」が3日以上(7月20日時点で未達)、「ななつぼし」が2日遅かった。

7月20日において、草丈は平年対比で「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ99%、97%と平年並であった。茎数はそれぞれ108%、107%と平年並で、ともに最高分けつ期を過ぎていた。主稈葉数はそれぞれ平年より0.2枚ずつ少なかった。すなわち、生育はやや遅れているが、生育量はほぼ平年並であった。

以上により、7月20日時点の作況は、平年並である。

8月20日 平年並

事由:7月下旬は高温に推移したため、出穂期は平年対比で「きらら397」が1日、「ななつぼし」が2日遅く、生育の遅れをやや取り戻した。稈長は、平年対比で「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ112%、106%とやや長く、穂長はそれぞれ101%、98%と平年並であった。穂数はそれぞれ100%、105%と平年並からやや多かった。

以上により、8月20日時点の作況は、平年並である。

9月20日 平年並

事由:8月下旬から9月中旬にかけて低温に推移したが、登熟は平年並に進み、登熟日数は「ななつぼし」が1日長かった(「きらら397」は9月20日時点で成熟期に未達)。一穂粒数は平年対比で「きらら397」が97%と平年並で、「ななつぼし」が90%と平年より少なかった。m²当たり粒数はそれぞれ97%、94%と平年並からやや少なく、稔実歩合は平年よりそれぞれ3.2ポイント、3.8ポイント高かったため、m²当たり稔実粒数はそれぞれ101%、98%と平年並であった。

以上により、9月20日時点の作況は、平年並である。

10月20日 良

事由:登熟歩合は平年より「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ7.8ポイント、10.5ポイントそれぞれ高かったため、m²当たり登熟粒数はそれぞれ107%、107%と平年より多かった。粗玄米重はそれぞれ65.9kg/a、67.6kg/aで、平年対比でそれぞれ105%、106%と平年を上回った。千粒重はそれぞれ100%、98%と平年並で、屑米歩合は「きらら397」が平年より0.1ポイント高く、「ななつぼし」が平年より1.4ポイント低かった。その結果、精玄米重は「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ61.6kg/a、64.1kg/aで、平年対比でそれぞれ105%、108%と平年を上回った。

以上により、10月20日時点の作況は、良である。

注1) 作況指数(収量平年比)と作柄の判定基準 (農林水産省の統計基準による)

作況指数	~90	91~94	95~98	99~101	102~105	106~
作柄	著しい不良	不良	やや不良	平年並	やや良	良

項目	品種名・ 苗種	きらら397 中苗			ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗(参考)			そらゆき 中苗(参)
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年 (前6ヶ年)	比較	本年	
播種期	(月.日)	4.16	4.18	△ 2	4.16	4.18	△ 2	4.16	4.18	△ 2	4.16
移植期	(月.日)	5.19	5.21	△ 2	5.19	5.21	△ 2	5.19	5.20	△ 1	5.19
幼穂形成期	(月.日)	7.06	7.06	0	7.02	7.02	0	7.02	7.03	△ 1	7.03
止葉始	(月.日)	7.21	7.18	3	7.15	7.13	2	7.17	7.15	2	7.17
出穂期	(月.日)	8.01	7.31	1	7.29	7.27	2	7.30	7.28	2	7.31
成熟期	(月.日)	9.21	9.20	1	9.17	9.14	3	9.17	9.16	1	9.20
穂揃日数	(日)	6.0	5.8	0.2	7.0	6.2	0.8	7.0	6.7	0.3	6.0
登熟日数	(日)	51	51	0	50	49	1	49	50	△ 1	51
生育日数	(日)	158	155	3	154	149	5	154	151	3	157
移植時地上部乾物重(g/100本)		2.23	1.96	0.27	2.55	2.07	0.48	2.32	2.16	0.16	2.64
草丈 (cm)	移植時	9.1	10.1	△ 1.0	10.4	10.4	0.0	10.4	10.5	△ 0.1	10.8
	6月20日	25.8	24.1	1.7	29.2	28.1	1.1	28.5	28.5	0.0	32.4
	7月20日	62.1	62.7	△ 0.6	69.3	71.3	△ 2.0	68.2	70.7	△ 2.5	68.6
茎数 (移植時:本/個体 その他:本/m ²)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0
	6月20日	323	321	2	370	331	39	338	355	△ 17	300
	7月20日	860	800	60	858	802	56	953	857	96	845
主稈 葉数 (枚)	移植時	2.9	3.2	△ 0.3	3.1	3.1	0.0	3.0	3.2	△ 0.2	2.7
	6月20日	6.7	7.1	△ 0.4	6.7	7.1	△ 0.4	6.8	7.2	△ 0.4	6.2
	7月20日	10.7	10.9	△ 0.2	10.0	10.2	△ 0.2	10.6	10.5	0.1	9.7
	止葉	11.0	11.1	△ 0.1	10.0	10.3	△ 0.3	10.7	10.6	0.1	9.8
稈長	(cm)	72.4	64.9	7.5	73.9	69.4	4.5	75.2	68.2	7.0	82.7
穂長	(cm)	16.8	16.7	0.1	16.1	16.5	△ 0.4	16.4	17.0	△ 0.6	16.8
穂数	(本/m ²)	695	695	0	768	731	37	803	760	43	738
一穂粒数	(粒)	46.4	47.6	△ 1.2	46.9	52.1	△ 5.2	43.1	44.0	△ 0.9	47.5
m ² 当粒数	(百粒)	322	331	△ 9	360	381	△ 21	346	334	12	351
稔実歩合	(%)	95.1	91.9	3.2	93.5	89.7	3.8	94.7	90.4	4.3	93.4
登熟歩合	(%)	88.3	80.5	7.8	90.8	80.3	10.5	89.0	77.7	11.3	89.7
籾摺歩合	(%)	77.2	76.7	0.5	78.6	76.1	2.5	74.3	74.5	△ 0.2	75.8
屑米歩合	(%)	6.5	6.4	0.1	5.2	6.6	△ 1.4	8.8	8.3	0.5	7.8
千粒重	(g)	23.1	23.2	△ 0.1	21.9	22.4	△ 0.5	22.7	22.9	△ 0.2	23.1
わら重	(kg/a)	66.0	60.4	5.6	73.4	66.2	7.2	67.7	65.3	2.4	74.0
精籾重	(kg/a)	79.8	76.7	3.1	81.6	78.3	3.3	79.1	74.4	4.7	87.5
精玄米重	(kg/a)	61.6	58.8	2.8	64.1	59.6	4.5	58.8	55.4	3.4	66.3
収量平年対比	(%)	105	100	5	108	100	8	106	100	6	-
検査等級			1下	-		1下	-		2上	-	

注1)「きらら397」の平年値は前7ヶ年中、平成26年(最豊)、21年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2)「ななつぼし」の平年値は前7ヶ年中、平成23年(最豊)、21年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注3)平成21年より「ゆめびりか」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注4)平成26年より「そらゆき」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注5)耕種概要

土 壤 : 細粒グライ土

施 肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播 種 量 : 中苗紙筒=130cc/箱

移植方法 : 手植え

注6)刈り取り面積は一区4.00m²。精籾重、精玄米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

9月下旬：平均気温は平年より0.6℃高く、降水量は平年の186%、日照時間は平年の95%であり、多雨に経過した。

10月上旬：平均気温は平年より1.1℃低く、降水量は平年の66%、日照時間は平年の122%であり、低温、少雨、多照に経過した。

10月中旬：平均気温は平年より1.5℃低く、降水量は平年の69%、日照時間は平年の105%であり、低温、少雨に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.7℃低く、降水量は平年の105%、日照時間は平年の107%であった。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	20.3	20.2	0.1	16.2	18.1	△1.9	14.8	15.9	△1.1	17.1	18.1	△1.0
最低気温(℃)	10.9	9.0	1.9	6.2	7.5	△1.3	3.7	5.1	△1.4	6.9	7.2	△0.3
平均気温(℃)	15.0	14.4	0.6	11.3	12.4	△1.1	8.9	10.4	△1.5	11.7	12.4	△0.7
降水量(mm)	54.5	29.3	25.2	22.5	34.0	△11.5	20.0	28.9	△8.9	97.0	92.2	4.8
降水日数(日)	4.0	2.3	1.7	5.0	2.9	2.1	5.0	3.3	1.7	14.0	8.5	5.5
日照時間(hr)	52.9	55.5	△2.6	55.0	45.1	9.9	50.4	47.9	2.5	158.3	148.5	9.8

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

Ⅱ 作 況

1. 秋まき小麦(平成27年播種)

平成27年9月20日作況：平年並

事由：播種期は9月17日で平年より2日早く、安定した越冬のために必要な生育量の確保には問題のない播種時期である。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成27年10月20日作況：平年並

事由：出芽は良好で出芽期は平年より4日早い9月23日であった。10月20日現在で一部分げつが始まっているため茎数は平年を大きく上回っているが、草丈は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目 \ 年次	品種名	きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(H27.月.日)	9.17	9.19	△ 2
出芽期	(H27.月.日)	9.23	9.27	△ 4
出穂期	(H28.月.日)		6.5	
成熟期	(H28.月.日)		7.18	
冬損程度	(0:無～5:甚)		0.8	
草 丈 (cm)	H27.10.20	17.9	17.8	0.1
	H28.5.20		44.6	
	H28.6.20		97.1	
茎 数 (本/m ²)	H27.10.20	1154	586	568
	越冬前(11月)		1227	
	越冬後(4月)		1728	
	H28.5.20		1276	
	H28.6.20		749	
成熟期に おける	稈長 (cm)		88	
	穂長 (cm)		8.8	
	穂数 (本/m ²)		684	
倒伏程度	(0:無～5:甚)		0.4	
子実重	(kg/10a)		729	
容積重	(g/l)		811	
千粒重	(g)		38.5	
品質	(等級)		2等	
子実重平年対比 (%)			100	

注1) 平年値:前7か年中、平成25年(最凶)、平成21年(最豊)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

2. 大豆

6月20日 やや不良

事由：播種期は平年より1日遅い5月22日で、出芽期は平年より1～2日遅かった。出芽前後の6月上旬は気温が低く、降水量が極めて多かったため、生育が停滞し、両品種の主茎長は平年より短く、主茎節数はやや少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日 やや不良

事由：「トヨムスメ」の開花期は、平年より1日遅かった。6月下旬～7月上旬の気温が低く推移したため、主茎長は平年より短く、主茎節数および分枝数は平年よりやや少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日 平年並

事由：「スズマル」の開花期は平年より3日遅かった。両品種とも主茎長は平年より短い、「トヨムスメ」は主茎節数、分枝数および着莢数が平年並であり、「スズマル」は主茎節数と分枝数が平年比よりやや少なく、着莢数は平年より多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

9月20日 やや良

事由：主茎長は平年より短い、「トヨムスメ」は主茎節数、分枝数が平年並であり、着莢数は平年よりやや多く、「スズマル」は主茎節数と分枝数が平年よりやや少なく、着莢数は平年より多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

10月20日 良

事由：成熟期が平年より「トヨムスメ」は6日遅く、「スズマル」は2日早かった。「トヨムスメ」は、百粒重が平年より軽かったが、一莢内粒数と着莢数が平年より多かったため、子実重は431kg/10aで平年対比111%であった。「スズマル」は、一莢内粒数は平年並で百粒重が平年よりやや軽かったが、莢数が多かったことにより、子実重は396kg/10aで平年対比116%であった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名		トヨムスメ			スズマル		
項目	年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.22	5.21	1	5.22	5.21	1
出芽期	(月.日)	6.3	6.1	2	6.2	6.1	1
開花期	(月.日)	7.17	7.16	1	7.26	7.23	3
成熟期	(月.日)	10.04	9.28	6	9.28	9.30	△ 2
主茎長 (cm)	6月20日	7.7	11.7	△ 4.0	6.1	8.8	△ 2.7
	7月20日	32.7	49.8	△ 17.1	24.0	39.9	△ 15.9
	8月20日	43.4	57.9	△ 14.5	48.9	67.3	△ 18.4
	9月20日	42.3	58.0	△ 15.7	49.2	67.7	△ 18.5
	成熟期	42.3	57.1	△ 14.8	49.2	65.2	△ 16.0
主茎節数 (節)	6月20日	2.6	3.2	△ 0.6	2.6	3.5	△ 0.9
	7月20日	9.2	9.7	△ 0.5	10.2	11.3	△ 1.1
	8月20日	9.9	10.1	△ 0.2	13.0	14.3	△ 1.3
	9月20日	9.9	10.1	△ 0.2	13.1	14.1	△ 1.0
	成熟期	9.9	10.2	△ 0.3	13.1	14.0	△ 0.9
分枝数 (本/株)	7月20日	5.6	6.3	△ 0.7	7.1	8.1	△ 1.0
	8月20日	6.8	6.8	0.0	10.5	11.3	△ 0.8
	9月20日	6.6	6.7	△ 0.1	10.1	10.7	△ 0.6
	成熟期	6.6	6.3	0.3	10.1	10.1	0.0
着莢数 (莢/株)	8月20日	76.2	73.6	2.6	171.3	147.4	24.0
	9月20日	72.9	67.5	5.4	150.8	128.4	22.4
	成熟期	72.9	66.7	6.2	150.8	123.3	27.5
一莢内粒数		2.06	1.84	0.22	2.46	2.46	0.00
子実重	(kg/10a)	431	390	41	396	347	49
百粒重	(g)	36.3	39.5	△ 3.2	14.4	15.0	△ 0.6
屑粒率	(%)	0.5	2.0	△ 1.5	0.7	1.7	△ 1.0
品質	(等級)		3中			2中	
子実重	平年対比 (%)	111	100	11	116	100	16

注) 平年値は前7カ年中、平成21年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。

3. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より1日遅い5月26日であったが、6月上旬が低温で推移したことと、豪雨により地表面がクラスト化したため出芽期は平年より3日遅い6月15日となった。6月20日現在で、主茎長、主茎節数ともに平年を下回っているが問題となる生育の遅れではない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬から7月上旬にかけて平均気温は低く推移し、また、7月上旬から中旬にかけて干ばつ傾向で経過した。7月20日現在で主茎長は平年より短い、主茎節数は平年並、分枝数が平年より多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：やや良

事由：開花期は平年より8日遅い7月30日であった。7月下旬の平均気温が高く推移したため急激に生育が進み、8月20日現在で主茎長は平年より22.9cm長く、主茎節数、分枝数および着莢数のいずれも平年を上回っている。なお8月6日の降雨により倒伏した。また、莢の伸長程度から成熟期は平年より遅れることが予想される。

以上により、現在の作況はやや良である。

9月20日作況：やや良

事由：8月中旬以降、気温が平年より低く経過したため、成熟期は平年より12日遅い9月16日であった。成熟期における主茎長は平年より長く、主茎節数はやや多かった。分枝数、着莢数は平年より多く、一莢内粒数も多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

10月20日作況：良

事由：子実重は平年比134%と多収であった。百粒重は平年よりやや重く、倒伏程度が大きかったため屑粒率は平年よりやや高かった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.26	5.25	1
出芽期	(月.日)	6.15	6.12	3
開花期	(月.日)	7.30	7.22	8
成熟期	(月.日)	9.16	9.04	12
主茎長 (cm)	6月20日	2.8	3.4	△ 0.6
	7月20日	18.3	24.1	△ 5.8
	8月20日	83.3	60.4	22.9
	成熟期	81.8	60.6	21.2
主茎節数 (節)	6月20日	1.1	1.4	△ 0.3
	7月20日	9.4	9.4	0.0
	8月20日	15.2	13.7	1.5
	成熟期	14.4	13.7	0.7
分枝数 (本/株)	7月20日	4.6	3.6	1.0
	8月20日	5.3	3.8	1.5
	成熟期	5.1	3.8	1.3
着莢数 (莢/株)	8月20日	79.5	55.1	24.4
	成熟期	62.3	52.5	9.8
一莢内粒数		6.35	5.77	0.58
子実重	(kg/10a)	388	290	98
百粒重	(g)	13.0	12.4	0.6
屑粒率	(%)	4.1	3.1	1.0
品質	(等級)		3下	—
子実重平年対比	(%)	134	100	34

注) 平年値は前7カ年中、平成20年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均。

耕種概要

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

	一区面積 (m ²)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株本数	播種粒数 (粒/m ²)	株数 (株/10a)
秋まき小麦	9.6	4	ひまわり	20	条播	—	255	—
春まき小麦	7.2	4	ひまわり	30	条播	—	340	—
大豆	8.4	3	デントコーン	60	20	2	—	8,333
小豆	8.4	3	えん麦	60	20	2	—	8,333
ばれいしょ	10.8	3	デントコーン	75	30	—	—	4,444

	10a当たり施肥量(kg)				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥
秋まき小麦	4.0+6.0	12.5	5.0	—	—
春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	—
大豆	1.5	11.0	7.5	3.5	—
小豆	4.0	19.2	9.2	2.4	—
ばれいしょ	10.4	16.4	13.6	—	—

中央農試作況報告について

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。